

夏のイベント★参加者募集!!

中央図書館

1. おはなしの庭【ストーリーテリング（すばなし）】

日時：7月23日（水）10:30～11:00

場所：中央図書館 2階 おはなしのへや

対象：5歳くらいから小学生

定員：20名程度（先着順） 費用：無料 申込：不要

2. でかぞうクラブ【読書感想文おたすけブックトーク】

日時：8月8日（金）10:00～11:30

場所：中央図書館 4階 視聴覚室

対象：小学5・6年生 定員15名（先着順） 費用：無料

申込：7月23日（水）9:30～ 中央図書館へ（電話可）

狭山台図書館

1. ビブリオバトル

日時：7月27日（日）・8月24日（日）15:00～16:00

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学生～大人 費用：無料 申込：不要 持ち物：おすすめの本1冊

2. 小学生一日図書館員

日時：7月30日（水）10:00～12:00

場所：狭山台図書館

対象：小学4～6年生 定員：3名（先着順） 費用：無料

申込：7月21日（月）9:30～ 狭山台図書館へ（電話可）

3. でかぞうクラブ【ペットボトルスノードーム作りとおはなし会】

日時：8月23日（土）14:00～15:30

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：小学生 定員：8名（先着順） 費用：無料

申込：7月19日（土）9:30～ 狭山台図書館へ（電話可）

4. わくわくサイエンス 【偏光板でステンドグラスの実験】

日時：8月30日（土）①13:00～14:30 ②15:00～16:30

場所：狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象：①小学1～2年生（要保護者同伴） ②小学3～6年生

定員：各回8名（先着順） 費用：530円

申込：8月15日（金）9:30～ 費用を持って狭山台図書館窓口へ

よむぞうタイムズ 90号

5年生 6年生

狭山市立図書館 2025.7.15 発行

私たちの身の回りにはたくさんの「水」がある。
夏休みに遊びに行く海やプール、生活に必要な水道水。
今回は「水の世界へようこそ」をテーマに、
いろいろな水が登場する本を紹介するよ。



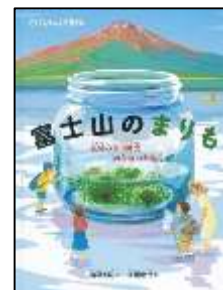
『富士山のまりも』（J474 加）

夏休み自由研究50年後の大発見

亀田 良成／文 斉藤 俊行／絵 福音館書店



小学5年生の夏休み、自由研究で富士山のふもとにある山中湖から持ち帰ったまりもを育てることにした。わが家の庭で元気に増え続けていくまりも。あの時から、50年が経ち、山中湖のまりもが絶滅の危機にさらされていることを知る。



『スイマー』（JP ㊦）

高田 由紀子／著 結布／絵 ポプラ社



ある出来事がきっかけで東京のスイミングクラブをやめた航。水泳はもうこりごりだと思っていたが、引っこし先のクラスメイトと一緒に泳がないかとさそわれる。地元のプールを存続させるためには、大会で良い成績を残さないといけない。そこで、航は仲間たちと共にメドレーリレーに挑戦する。

図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。イベント、開館時間、休館日等の最新情報もこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646

狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801

狭山市公式HP <https://www.city.sayama.saitama.jp/>



『夏休みに、翡翠をさがした』(JPカ)

岡田 依世子／作 岡本 順／絵 アリス館



たいくつしていた夏休み、小学6年生の玉江と哲平、信彦は翡翠という宝石をさがすことにした。「海岸で5百万円もする翡翠をみつけた子がいた」という話を聞いたからだ。翡翠さがし

の名人だった玉江のおじいさんの残した和歌の謎を解き、立ち入り禁止になっている「スイコミ平」にある縦穴洞窟へ向かった。はたして、翡翠を発見できるのか。

『とどろけ淵のメッケ』(JPト)

富安 陽子／作 広瀬 弦／絵 佼成出版社



メッケは大きな滝壺「とどろけ淵」に住む河童だ。身体は小さいけれど特別な目を持っていて、探し物が得意。仲間の河童たちが相撲大会に出かけたあと、ひとりで留守番をさせられ

ていたメッケは滝の水が落ちてこないことに気づいた。川に水が流れなければ、川に住む生き物たちはどうになってしまうのだろう。メッケは水が流れない原因を確かめに行くことにした。

『パフィン島の灯台守』(JSト)

マイケル・モーパール／作
ベンジー・デイヴィス／絵 佐藤 見果夢／やく 評論社



パフィン島の灯台守ベンジャミンは、大嵐にあったペリカン号に乗っていた30人を救助した。当時5才だったアランは、助けてくれたベンジャミンにいつか会いに行きたいと何度も手紙を出したが、返事は来なかった。

12年後、ベンジャミンについて書かれた新聞記事を目にしたアランは、学校を卒業したらパフィン島の灯台へ行くことを決心した。

『なんてくさいんだ!』(EEカ)

ロンドンを救ったジョセフの物語

コリーン・ペフ／文 ナンシー・カーペンター／絵
金原 瑞人／訳 あかつき教育図書



1858年ロンドンの人たちに「悪魔の悪臭」とよばれたテムズ川のおい。この川をきれいにするため、下水道の技師であるジョセフはある計画を立てた。ロンドンの

地下に下水管を作り、そこへよごれた水を流す。下水道からテムズ川の下流へ、そして海へ流すという計画だ。ジョセフは、ロンドンの人たちを悪臭から救うことができるのか。

『クジラがしんだら』(EKカ)

江口 絵理／文 かわさき しゅんいち／絵
藤原 義弘／監修 童心社



深く暗い海の中。そこに長い一生を終えた大きなマッコウクジラがしんできた。おいしそうな肉のにおいに引き寄せられて、ユメザメやタカアシガニなど、深海の生き物が

ぞろぞろと集まって来る。肉を食べつくすと今度はクジラの骨を食べる虫が現れる。死んだクジラが深海の生き物たちのエサとなり、次の命へとつながっていく。

『ひとしずくの水』(J435カ)

ウォルター・ウィック／作 林田 康一／訳
あすなろ書房



しずく、氷、水蒸気…目に見える水と見えない水。水はすべての生き物にとって、なくてはならない、とても大切なもの。身のまわりには、さまざまな姿や形の水が存在している。その姿を美しい写真でみてみよう。

今、水道の蛇口から落ちたしずくも水の終わりのない旅の途中なんだ。ひとしずくの水といっしょに旅にしよう。

